

日本国内詞学文献目録

松尾 肇子 編
宋词研究会 補編

凡 例

1. 本稿は、明治元年（1868）以降、日本において刊行された詞学に関する文献の目録である（一部、中国で刊行された日本人著作を含む）。
2. 刊行の形態によって「単刊の部」と「論文の部」に大別し、それぞれを更に内容によって分類する。
3. 「単刊の部」に付する「非専著」には、詞学の専著ではないが、詞や詞人に関するまとまった記述を含み、かつ「論文の部」でも採り上げにくいものを収める。
4. 各分類の中は、発表年月の順に排する。
5. 雑誌の巻号は、次のように略記する。

1 巻 1 号 → 1-1

1 巻 2・3 号合併号 → 1-2・3

1 巻 2 号、1 巻 3 号 → 1-2、1-3

1 巻 1 号、1 巻 2 号、1 巻 3 号 → 1-1～3

6. 本稿の最新版は下記の宋词研究会ホームページに掲載し、随時更新していく予定である。

<http://www.res.otaru-uc.ac.jp/~hagiwara/scyj.html>

【甲、単刊の部】

1. 総記

（総論）

宋代の詞（教養文庫） 中田勇次郎 弘文堂書房 1940

宋词（中国詩文選 21） 村上哲見 筑摩書房 1973

宋词研究—唐五代北宋篇—（東洋学叢書） 村上哲見 創文社 1976

唐宋詞研究 青山宏 汲古書院 1991

中国古典詩歌の手法と言語 宇野直人 研文出版 1991

日本学者中国詞学論文集 王水照・保荊佳昭編 上海古籍出版社 1991

読詞叢考（東洋学叢書） 中田勇次郎 創文社 1998

宋詞の世界 中国近世の抒情歌曲（あじあブックス 050） 村上哲見 大修館書店
2002

（詞韻・詞樂）

詞の平仄と押韻 河井謙 松雲堂書店 1994

北宋末の詞と雅樂 村越貴代美 慶応義塾大学出版会 2004

（詞話・詞論）

鷗夢吟社叢書（録七種本） 森川竹磻編 鷗夢吟社 明治刊

鷗夢叢書（録六種本） 森川竹磻編 鷗夢吟社 明治刊

鷗夢叢書（録五種本） 森川竹磻編 鷗夢吟社 明治刊

詞品 附靈芬館詞抄（志延舍文庫其9） 小林健志 著者刊 1954

張炎『詞源』訳註稿（1） 『詞源』輪読会 著者刊 1992

教坊記・北里志（東洋文庫 549） 斎藤茂訳注 平凡社 1992

張炎『詞源』訳註稿（2） 『詞源』輪読会 著者刊 1994

張炎『詞源』訳註稿（3） 『詞源』輪読会 著者刊 1996

張炎『詞源』訳註稿（4） 『詞源』輪読会 著者刊 1997

張炎『詞源』訳註稿（5） 『詞源』輪読会 著者刊 1999

唐代音楽の文献学的研究（平成13年度科学研究費補助金基盤研究（C）研究成果報告書、羯鼓録訳注・楽府雜録訳注） 斎藤茂・中純子 著者刊 2002

宋代の詞論－張炎『詞源』－ 詞源研究会 中国書店 2004

宋代文献資料による唐代音楽の研究（平成14～15年度科学研究費補助金基盤研究（C）（1）研究成果報告書、『碧鷄漫志』訳注） 中純子・斎藤茂 著者刊 2004

（詞籍）

填詞図譜 田能村竹田 松村九兵衛 明治刊

填詞図譜（文化三年原序） 田能村竹田 青木嵩山堂 1881

填詞図譜 田能村竹田、孫佩蘭参訂 国学書局 1917

群英詩余（景元至正三年刊本、京都大学漢籍善本叢書第1期9） 清水茂解説 同朋舎出版 1980

欽定詞譜（景清康熙五十四年内府刊本、京都大学漢籍善本叢書第1期10-13） 清水茂解説 同朋舎出版 1983

詞学文庫分類目録 芳村弘道・萩原正樹・嘉瀬達男編 編者刊 1996

填詞図譜（花井卯助明治14年刊の複製）（理想日本リプリント第56巻）3冊本 田能村竹田 上坂氏顕彰会史料出版部 2001

（訳注・総集）

- 詞選（麗沢叢書2） 中田勇次郎 弘文堂書房 1942
- 漢和英対訳註 宋代の抒情詩詞（志延舎文庫其6） 小林健志 著者刊 1952
- 単調の詞（志延舎文庫其10） 小林健志 著者刊 1954
- 涙眼集 花崎采琰 四季社 1954
- 漁父の詞 附散曲（志延舎文庫其11） 小林健志 著者刊 1954
- 物語の詞（志延舎文庫其12） 小林健志 著者刊 1955
- 中国詞選 花譜 花崎采琰 大雅洞 1961
- 歴代名詞選（漢詩大系24） 中田勇次郎 集英社 1965
- 宋代詞集（中国古典文学大系20） 倉石武四郎・須田禎一・田中謙二 平凡社 1970
- 宋詞評釈 波多野太郎 桜楓社 1971
- 唐五代宋名詞選 本陣良平 著者刊 1973
- 中国名詞選（新釈漢文大系84） 馬嶋春樹 明治書院 1975
- 宋詞評釈（補訂版）2冊本 波多野太郎 桜楓社 1975
- 十六字令（志延舎文庫其19） 小林健志 著者刊 1980
- 愛情の宋詞 花崎采琰 東方文芸の会 1981
- 晚唐五代流行歌謡 花崎采琰 東方文芸の会 1982 （西田書店より1985年12月新装版刊行）
- 詞の鑑賞（『河上肇全集』第21巻所収） 河上肇 岩波書店 1984
- 続十六字令（志延舎文庫其32） 小林健志 著者刊 1984
- 宋代詞集（中国の古典33） 佐藤保 学習研究社 1986
- 康熙帝御製「広群芳譜」による花の文化詞 花崎采琰 東方文芸の会 1989
- 唐宋词選註（唐五代の部） 唐圭璋・潘君昭・曹濟平編著、芝池靖夫訳 今人舎 2000

（索引）

- 唐五代詞選五種綜合引得初稿 白井楽山 著者刊 1967
- 花間集索引 青山宏 →（花間集）

（その他）

- 中国音楽関係著述論文目録（4） 詞学関係論文目録等 水原渭江編 国際芸術文化

交流委員会 1997

2. 各論

(1) 唐五代

(李煜)

李後主詞集 (志延舎文庫其 14) 小林健志 著者刊 1956

李煜 (中国詩人選集第 16 卷) 村上哲見 岩波書店 1959

李煜 唐詩と宋詞の間に逝った永遠のロマンティズム 中田昭栄 新風舎
1999

(花間集)

全訳花間集 花崎采琰 桜楓社 1971

花間集索引 (東洋学文献センター叢刊 21) 青山宏 東京大学東洋文化研究所附属東
洋学文献センター 1974 (汲古書院より 1979 年 3 月影印版刊行)

(2) 北宋

(蘇軾)

蘇詞研究 保荊佳昭 線装書局 2001

(李清照)

新訳漱玉詞 花崎采琰 新樹社 1958

李清照 その人と文学 (中国古典入門叢書 15) 徐培均、山田侑平訳 日中出版 1997

魅惑の詞人 李清照 原田憲雄 朋友書店 2001

(5) 清

(納蘭性徳)

中国悲曲 飲水詞 花崎采琰 西田書店 1985

(馮雲鵬)

二十四女品花 附美人十二咏 (志延舎文庫其 7) 小林健志 著者刊 1953

(郭麐)

詞品 附靈芬館詞抄 (志延舎文庫其 9) 小林健志 → (詞話・詞論)

(7) 日本人

- 日本における中国文学Ⅰ－日本填詞史話上－ 神田喜一郎 二玄社 1965 (『神田喜一郎全集』第6巻、同朋舎出版、1985に再録)
- 日本における中国文学Ⅱ－日本填詞史話下－ 神田喜一郎 二玄社 1967 (『神田喜一郎全集』第7巻、同朋舎出版、1986に再録) (華訳、日本填詞史話、程郁綴等訳、北京大学出版社、2000)
- 日本文芸の研究(日本詞学史) 水原渭江 香港日本学術交流委員会 1975

(詞集)

- 琴窓詞選 水原琴窓 紅豆詞寮 1957
- 煙津詞訳注(明治における中国文学研究資料Ⅰ) 水原渭江編 進々堂書店 1968
- 煙津詞(明治における中国文学研究資料Ⅰ) 藤本煙津、水原渭江編 進々堂書店 1969
- 琴窓詞稿 水原琴窓 紅蓼吟社 1971
- 琴窓詞稿第二集 水原琴窓 南天書業公司 1973
- 水原渭江詞集 水原渭江 中国詩社 1987
- 夢余稿詞集(上) 森川竹篥、水原渭江編 国際芸術文化交流委員会 1989
- 夢余稿詞集(中)(下) 森川竹篥、水原渭江編 国際芸術文化交流委員会 1989

[附]非專著

(総記)

- 幽秘記 幸田露伴 改造社 1925 (『精選名著複製全集 近代文学館』、ほるぷ出版、1972に再録)
- 清代及現代の詩余駢文界(「清代及現代の詞界」) 今関寿麿 今関研究室 1926 (『近代支那の学芸』、民友社、1931に再録)
- 東アジア世界の変貌(世界の歴史6)(「唐詩と宋詞の間」前野直彬執筆) 筑摩書房 1961
- 間花零拾 中国詩詞隨筆 沢田瑞穂 研文出版 1986
- 中国文学を学ぶ人のために(第四章「詞」中原健二執筆) 興膳宏編 世界思想社 1991
- 研究資料漢文学第5巻詩Ⅲ(「中国古典詩史—先秦から唐末まで—」宇野直人執筆) 矢嶋美都子・宇野直人 明治書院 1993
- 中国文人論(汲古選書12) 村上哲見 汲古書院 1994
- 中国の四季 漢詩歳時記(講談社選書メチエ) 野口一雄 講談社 1995

中国の詩妓 王悦・大場雅子 礼文出版 1998
妓女と中国文人（東方選書 35） 斎藤茂 東方書店 2000
詩人と涙－唐宋詩詞論－ 森博行 現代図書 2002

（文学史・概論等）

支那文学史（第九講「宋代文学」） 久保天随 人文社 1903
支那文学史（第三期第一「唐代文学－詞の発展、五代の詞人」、第三期第二「宋代文学－宋初の詞、南宋の詞」） 久保得二 早稲田大学出版部 1907
作詩法講話（第四章「詩詞の別」、第五章「詞・曲並びに雜劇」） 森槐南 文会堂書店 1911 （京文社より 1926 年新装版刊行）（桑文社より 1935 年新装版刊行）
支那文学史綱（第二十五章「詞曲の発達」） 児島献吉郎 富山房 1912
支那文学史（第二十一章「詩余」） 児島献吉郎 早稲田大学出版部 刊年未詳
支那文学研究（第二巻「詞曲類」） 鈴木虎雄 弘文堂書房 1925
支那文芸論叢（七「詞格の長短句発達の原因に就て」、八「楽律遡源」、九「燕楽二十八調考」） 青木正児 弘文堂書房 1927 （『青木正児全集』第二巻、春秋社、1970 に再録）
文検参考支那文学史要（第二章「宋の文学－詞曲の大成」） 橘文七 啓文社出版 1927
支那文学概論（第九章「理智と感情二」、第三十二章「詞と曲」） 児島献吉郎 京文社 1928
支那文学史概説（第三編第五章「填詞」） 西沢道寛 同文社 1928
文部省検定受験参考支那文学史要（第三編第一章「唐の文学－詞曲の源流」、第三編第二章「宋の文学－宋代詞曲の大成」） 小林甚之助 大同館書店 1931
新講支那文学史（第二「宋代文学－総説、詩文体制の変異」） 水野平次 東洋図書 1932
支那文学史綱要（八「詞の隆盛」） 内田泉之助・長沢規矩也 文求堂書店 1932
支那文学雑考（第六篇「唐宋文学史考－詞の発達」） 児島献吉郎 関書院 1933
支那文学概説（第三章「詩学－詞曲」） 青木正児 弘文堂書房 1935 （『青木正児全集』第一巻、春秋社、1969 に再録）
支那文学史綱要新訂版（十四「填詞の極盛」） 内田泉之助・長沢規矩也 文求堂 1939
支那文学思想史（第五章「宋代の文学思想－詞説」） 青木正児 岩波書店 1943 （『青木正児全集』第一巻、春秋社、1969 に再録）
支那文学概論（第五章「楽府及び填詞」） 塩谷温 弘道館 1947
清代文学評論史（第九章「填詞評論」） 青木正児 岩波書店 1950 （『青木正児全集』第一巻、春秋社、1969 に再録）
中国文学入門（第二話「杜甫の『兵車行』『石壕吏』、徐照の「促促詞」をめぐって唐詩・宋

- 詞の話」) 菊地三郎 新評論社 1954
- 中国文学史上(第十章「宋の文学—詞」) 大矢根文次郎 前野書店 1955
- 中国文学史(第四章「隋唐文学—詞の興起」、第五章「宋代文学—詞の極盛」、第七章「清朝文学—模倣の詩詞」) 内田泉之助 明治書院 1956
- 中国文学史(「近世」) 倉石武四郎 中央公論社 1956
- 中国文学史の問題点(「詞」倉石武四郎執筆) 竹田復・倉石武四郎編 中央公論社 1957
- 文学概論(中国文化叢書4) (IV「詞曲—詞」田森襄執筆) 鈴木修次等編 大修館書店 1967
- 文学史(中国文化叢書5) (V「宋代文学論—詞」村上哲見執筆) 鈴木修次等編 大修館書店 1968
- 中国文学史(6「宋代の文学—詞」) 佐藤一郎 慶応通信 1971
- 中国文学史研究—小説戯曲論攷—(「読詞雑誌」) 波多野太郎 桜楓社 1974
- 中国文学史(第五章「中世の文学(下)—晩唐の詩と詞」、第六章「近世の文学(上)—北宋の詞、南宋の詞」) 吉川幸次郎述・黒川洋一編 岩波書店 1974
- 中国文学史(第五章「五代・宋・金—詞」、第七章「清—詞」今西凱夫執筆) 前野直彬編 東京大学出版会 1975
- 中国文学史(17「詞の発達」、20「宋代の詞壇」、29「元明時代の詩詞」、33「清代の詩詞散曲」) 清水潔 仏教大学通信教育部 1982
- 中国文学史上—古代・中世・近世(前期)—(中国文化全書5) (第三章「近世の文学—詞」) 莊司格一・小川陽一・芦立一郎・植木久行 高文堂出版社 1985
- 中国文芸史(V第三章「宋代の文学—詞」) 安藤信広 法政大学通信教育部 1993
- 中国の古典詩(放送大学教材、11「詞・曲」) 佐藤保 放送大学教育振興会 1993

(詞韻・詞楽)

- 隋唐燕楽調研究 林謙三、郭沫若訳 商務印書館 1936
- 東亜音楽史考 岸辺成雄 龍吟社 1944
- 東洋の楽器とその歴史 岸辺成雄 弘文堂 1948
- 敦煌琵琶譜の解読研究 林謙三、潘懷素訳 上海音楽出版社 1957
- 唐代音楽の歴史的研究楽制篇2冊 岸辺成雄 東京大学出版会 1960
- 東洋の音楽 比較音楽的研究 ロベルト・ラッハマン、岸辺成雄訳 音楽之友社 1960
- 東亜楽器考 林謙三 音楽出版社 1962

正倉院楽器の研究 林謙三 風間書房 1964
唐代の楽器（東洋音楽選書2） 東洋音楽学会編 音楽之友社 1968
雅楽—古楽譜の解説（東洋音楽選書10） 林謙三 音楽之友社 1969
東アジア楽器考 林謙三 カワイ楽譜 1973
古代シルクロードの音楽—正倉院・敦煌・高麗をたどって 岸辺成雄 講談社
1982
天平のひびき—正倉院の楽器（Music gallery1） 岸辺成雄 音楽之友社 1984
詩詞譜 中山栄造 葛飾吟社 1992
音楽の源へ 中国の伝統音楽研究 東川清一・陳応時・村越貴代美訳 春秋社
1996

（訳注・総集）

風雅集（填詞選釈） 目加田誠 惇信堂 1947
幽歛集 原田憲雄 方向社 1956
唐山感情集 日夏耿之介 弥生書房 1959
零葉集 日夏耿之介 大雅洞 1960
続人間詩話（岩波新書） 吉川幸次郎 岩波書店 1961
中国古典詩集Ⅱ（世界文学大系 7B、「宋词」は村上哲見氏担当） 小川環樹等 筑摩書
房 1963 （筑摩書房より1975年『唐宋詩集（筑摩世界文学大系8）』として新装改訂
版刊行）
蓼莪集 中国詩選 原田憲雄 方向社 1964
宋詩選（中国古典選18） 入谷仙介 朝日新聞社 1967
中国名詩選 原田憲雄 人文書院 1973
中国詩選4 蘇東坡から毛沢東へ（現代教養文庫） 芦田孝昭 社会思想社 1974
中国の女詩人たち 中津浜涉 朋友書店 1981
花影のうた 詞と賦（中国の名詩10、「詞」は須田禎一氏・田森襄氏担当） 須田禎一・
田森襄・伊藤正文 平凡社 1983
女人春秋 中国閨秀詩篇 原田憲雄・森田曠平 美術出版社 1984
女性と恋愛（中国古典詩聚花第10巻） 野口一雄 尚学図書 1984
中国の女詩人 花崎采琰 西田書店 1985
中国名詩選（下）（岩波文庫） 松枝茂夫 岩波書店 1986
続・中国の女詩人たち 中津浜涉 朋友書店 1987
中国詩詞選 平和詞・山水詞・愛恋詞 花崎采琰 東方文芸の会 1987
宋代詩詞（鑑賞中国の古典22、「宋代の詞」は中原健二執筆） 山本和義・大野修作・中

原健二 角川書店 1988

中国文学歳時記 春(上) 黒川洋一等編 同朋舎出版 1988

中国文学歳時記 春(下) 黒川洋一等編 同朋舎出版 1988

中国文学歳時記 冬 黒川洋一等編 同朋舎出版 1989

中国文学歳時記 夏 黒川洋一等編 同朋舎出版 1989

中国文学歳時記 秋(上) 黒川洋一等編 同朋舎出版 1989

中国文学歳時記 秋(下) 黒川洋一等編 同朋舎出版 1989

古韻余響 中村真一郎 中央公論社 1996

漢詩七五訳に遊ぶ 「サヨナラ」ダケガ人生カ 松下緑 集英社 2003

ゆっくり楽に生きる 漢詩の知恵 串田久治・諸田竜美 学習研究社 2004

(王安石)

王安石 (中国詩人選集二集第4巻) 清水茂 岩波書店 1962

(蘇軾)

蘇軾下 (中国詩人選集二集第6巻) 小川環樹 岩波書店 1962

蘇東坡 (漢詩大系 17) 近藤光男 集英社 1964

蘇東坡 (コンパクト・ブックス中国詩人選 5) 近藤光男 集英社 1966 (『蘇東坡』

中国名詩鑑賞 7、小沢書店、1996 に再録)

蘇軾 (中国詩文選 19) 山本和義 筑摩書房 1973

天才詩人 蘇東坡 (中国の詩人 11) 横田輝俊 集英社 1983

蘇軾 その人と文学 (中国古典入門叢書 11) 王水照、山田侑平訳 日中出版 1986

漢詩をよむ 蘇東坡 100 選 (NHK ライブラリー128) 石川忠久 日本放送出版協会 2001

(陸游)

陸放翁鑑賞上下 河上肇 三一書房 1949 (『河上肇全集』第20巻、岩波書店、1982

に再録、また『陸放翁鑑賞』河上肇、一海知義校訂、岩波書店、2004 に再録)

陸游 (漢詩大系 19) 前野直彬 集英社 1964

円熟詩人 陸游 (中国の詩人 12) 村上哲見 集英社 1983

(高啓)

高青邱 (漢詩大系 21) 蒲池歆一 集英社 1966

（毛沢東）

毛沢東 その詩と人生 武田泰淳・竹内実 文芸春秋 1965

（日本人）

日本漢詩選 原田憲雄 人文書院 1974

（日本人・作品）

得間集 2 巻 森川竹磔 鷗夢吟社 1891

浩蕩詩程 森槐南 鷗夢吟社 1899

秋蘊遺稿 金井雄、結城琢編 錦鶏書院 1905

槐南集 28 巻 森槐南、森川鍵校 文会堂書店 1912 （『詩集日本漢詩』第 20 巻、汲古書院、1990 に再録）

來青閣集 10 巻附 1 巻 永井久一郎 著者刊 1913 （『詩集日本漢詩』第 19 巻、汲古書院、1989 に再録）

盜泉詩稿 12 巻 小泉盜泉 本莊堅宏刊 1914

霞庵詩鈔 6 巻附詩余 関沢霞庵 著者刊 1925

業間録 鈴木虎雄 弘文堂書房 1928

南州先生詩文鈔 3 巻 近藤元粹 蛭雪軒 1931

紅雨草堂詩詞集 本陣良平 北国出版社 1978

風騷集 陳舜臣詩歌選 陳舜臣 平凡社 1984

【乙、論文の部】

1. 総記

（総論）

詞の発展及び変遷 久保天随 帝国文学 10-1、10-2、10-3、10-5、10-7 1904

口語を使用せる填詞について 鈴木虎雄 芸文 14-2 1923 （『支那文学研究』、弘文堂、1925 に再録）

中国の抒情文学（詞） 花崎采琰 東方文芸 1 1951. 1

宋詞のはなし 神田喜一郎 東方文芸 8 1953. 7

填詞の研究（2） 花崎采琰 東方文芸 10 1954. 2

填詞の研究（3） 花崎采琰 東方文芸 11 1954. 6

宋詞 劉麟生 雅友 24 1955. 9

- 詞の世界のたのしさ 近藤光男 『漢詩大系 歴代名詞選』月報(集英社) 1965. 7
「詞」に対する認識とその名称の変遷 村上哲見 日本中国学会報 23 1971. 10
(『宋詞研究－唐五代北宋篇－』、創文社、1976 に再録)
宋詞のはなし 村上哲見 月刊しにか 1-4 1990. 7. 01
詩と詞－中国における詩の正統意識－ 村上哲見 『正統と異端－天皇・天・神』
(角川書店) 1991. 2. 28 (『中国文人論』、汲古書院、1994 に再録)
宋詞を読む(2) 北宋の詞 村上哲見 中国語 403 1993
宋詞を読む(3) 南宋の詞、詞の楽曲 村上哲見 中国語 404 1993
南宋詞の特質 中田勇次郎 学林 25 1996 (『読詞叢考』、創文社、1998 に再録)
両宋變括詞考 内山精也 『村山吉広教授古稀記念中国古典学論集』(汲古書院)
2000
南宋詞綜論 村上哲見 風絮 1 2005. 3

(詞源)

- 詞源 鈴木虎雄 支那学 3-1 1922. 10 (『支那文学研究』、弘文堂、1925 に再録)
詞格の長短句発達の原因に就て 青木正児 支那学 3-9 1924. 9 (『支那文芸論
叢』、弘文堂、1927、また『青木正児全集』第二巻、1975 に再録)
詞源流考 目加田誠 『服部先生古稀祝賀記念論文集』(富山房) 1936. 4. 21 (『風
雅集』、惺信堂、1947 に再録、また于式玉訳、文学年報 3 期、1937)
唐代における詞の起源について－特に楽府より見たる－ 豊田穰 漢学会雑誌
6-1 1938. 3
詞の創体期に就て－李白を中心として－ 伊藤喬 東洋大学論纂 2 1942. 9. 15
胡適の説いた所の詞の音起源論 大塚繁樹 中国語学 53 1956. 8
唐宋における曲子詞文学の成立 岡村繁 文学研究(九州大学) 65 1968. 3
詩から詞への変化 雫石鉦吉 関西外国語大学研究論集 25 1977. 1
詞の生成過程についての一考察 上木永生 盛岡大学紀要 9 1991

(詞体・詞譜)

- 詞法小論 森川竹礪 鷗夢新誌 33~65 1888-1891
詞律大成 森川竹礪 詩苑 1~48 1913-1917
詩形より見た長短句 田森襄 東京支那学会報 14 1954. 3
詩形より見た長短句 田森襄 埼玉大学紀要(人文・社会科学篇) 3 1954. 6
漁父 小林健志 東方文芸 12 1954. 10

宋の詞について—水調歌頭を通して— 田森襄 漢文教室 21 1955. 11
 菩薩蛮 吉田秀甫 東方文芸 15 1955. 12. 11
 漁父詞考 村上哲見 集刊東洋学 18 1967. 10 (『宋詞研究—唐五代北宋篇—』、創
 文社、1976 に再録)
 漁歌子の形式—填詞作法覚書— 馬嶋春樹 斯文 66 1971. 08
 慢詞の構造について 田森襄 二松学舎大学東洋学研究所集刊 5 1975. 3
 楊柳枝詞考 村上哲見 『加賀博士退官記念中国文史哲学論集』(講談社) 1979. 3
 「念奴嬌」解説 波多野太郎 龍溪 45 1979
 『欽定詞譜』訂誤—僻調について— 萩原正樹 学林 18 1992. 11. 10
 森川竹溪の『欽定詞譜』批判 萩原正樹 → (日本人)
 菩薩蛮考 越野美紀 お茶の水女子大学中国文学会報 13 1994
 「楊柳枝詞」について 橘英範 中国中世文学研究 28 1995
 元代中後期の詞牌と詞体 萩原正樹 学林 23 1995. 7. 20
 『歴代詩余』と『欽定詞譜』 萩原正樹 学林 26 1997. 2. 20
 詞法小論小箋 (1) 萩原正樹 小樽商科大学人文研究 91 1996. 3
 詞法小論小箋 (2) 萩原正樹 小樽商科大学人文研究 92 1996. 8
 詞曲譜の形式、概念およびその成立過程 土肥克己 未名 15 1997
 詞法小論小箋 (3) 萩原正樹 小樽商科大学人文研究 93 1997. 3
 詞法小論小箋 (4) 萩原正樹 小樽商科大学人文研究 96 1998. 8
 杜文瀾の『詞律校勘記』について 萩原正樹 学林 30 1999. 3
 高陽台、慶春沢と慶春宮 萩原正樹 橄欖 8 1999. 12
 『欽定詞譜』詞体考 萩原正樹 立命館文学 563 2000. 2
 研究ノート『詞律』の四声説について 萩原正樹 学林 32 2000. 10
 全宋词律譜未収詞牌考—寇準至歐陽脩— 萩原正樹 学林 34 2002. 1
 『欽定詞譜』の『花草粹編』引用について 萩原正樹 学林 36・37 2003. 3
 宋代「六州歌頭」考 (上) 池田智幸 学林 38 2003
 宋代「六州歌頭」考 (下) 池田智幸 学林 39 2004

(詞韻・詞楽)

唐五代詞韻考 中田勇次郎 支那学 8-4 1936. 11 (『読詞叢考』、創文社、1998 に
 再録)
 詞律に見えたる重疊韻の例に就いて 中田勇次郎 支那学 9-2 1937. 9 (『読詞
 叢考』、創文社、1998 に再録)
 唐の俗楽二十八調の成立年代に就いて 岸辺成雄 東洋学報 26-3、26-4、27-1

1939

唐五代詞の韻律について 中田勇次郎 大谷学報 28-3・4 合併号 1949. 6 (『読詞叢考』、創文社、1998 に再録)

宋詞押韻字に見られる音韻上の一二の特色 坂井健一 東洋学報 38-2 1955. 9

霓裳羽衣曲考 村上哲見 日本中国学会報 14 1962. 10 (『宋詞研究—唐五代北宋篇—』、創文社、1976 に再録)

宋の詞楽—歩虚子論攷— 張師勛 韓 3-3 1974

宋詞入声韻常用字考 佐井雅美 漢学研究 25 1987. 3

宋詞入声韻詞牌調考 佐井雅美 漢学研究 26 1988. 3

戈載「詞林正韻」の成立をめぐる 村越貴代美 → (戈載)

「詞」のリズム—「古典詩」との異同を中心に— 松浦友久 中国文学研究 14 1988. 12

姜夔「徵招」「角招」詞考 村越貴代美 → (姜夔)

『詞源』犯調考—その「犯」の意味するもの— 明木茂夫 → (張炎)

『詞源』宮調俗名考—その命名法に見る「読み替えの構造」— 明木茂夫 → (張炎)

『高麗史』樂志に見える宋樂—雅樂— 村越貴代美 人間文化研究年報(お茶の水女子大学) 15 1991

詞学に於ける記譜法の構造 明木茂夫 日本中国学会報 43 1991. 10. 01

詞と燕樂と雅樂 村越貴代美 お茶の水女子大学中国文学会報 15 1996. 4

法曲攷—唐代宮廷音樂史への一考察— 中純子 天理大学学報 184 1997. 3

詞牌と拍—詞牌を識別する要因とは何か— 明木茂夫 九州中国学会報 35 1997. 5

北宋徽宗朝の雅樂—大晟樂— 村越貴代美 日本音楽学会報 43-1 1998

姜夔の「凄凉犯」に見る犯調について 村越貴代美 → (姜夔)

音の伝承—唐代における樂譜と樂人— 中純子 中国文学報 62 2001

燕樂二十八調再考 村越貴代美 お茶の水女子大学中国文学会報 22 2003

宋代に伝承された唐代音樂—王灼『碧鷄漫志』が語るもの— 中純子 → (詞話・詞論)

南宋の詞学与琴 村越貴代美 慶應義塾大学日吉紀要人文科学 19 2004

従唐樂譜と姜譜的關係看詞的音樂背景 戸倉英美・葛曉音 文史総 67 輯 2004. 8

『詞源』「楊守齋作詞五要」第四要考—その宮調論と押韻の關係— 明木茂夫 風絮 1 2005. 3

(詞話・詞論)

- 胡適の詞論に於ける問題点 大塚繁樹 愛媛大学紀要(人文科学) 2-2 1955. 12
- 拝新月詞話 澤田瑞穂 中国古典研究 20 1976. 1 (『閑花零拾』、研文出版、1986
に再録)
- 宋人詞話集 (1) 青山宏 漢学研究 18・19 合併号 1980. 8
- 宋人詞話集 (2) 青山宏 漢学研究 20 1983. 2
- 宋人詞話集 (3) 之一 青山宏 漢学研究 22・23 合併号 1985. 3
- 宋人詞話集 (3) 之二 青山宏 漢学研究 24 1986. 3
- 宋人詞話集 (4) 青山宏 漢学研究 26 1988. 3
- 北宋の詞論(其の一) 青山宏 日本大学人文科学研究所紀要 35 1988. 3 (『唐
宋詞研究』、汲古書院、1991 に再録)
- 宋人詞話集 (5) 青山宏 漢学研究 28 1990. 3
- 宋人詞話集 (6) 青山宏 日本大学人文科学研究所紀要 42 1991. 9
- 宋人詞話集 (7) 青山宏 日本大学人文科学研究所紀要 44 1992. 9
- 宋人詞話集 (8) 青山宏 日本大学人文科学研究所紀要 46 1993
- 宋人詞話集 (9) 青山宏 日本大学人文科学研究所紀要 48 1994
- 南宋の詞論—『碧鷄漫志』に対する評価とその問題について (一)— 青山宏 漢
学研究 35 1997. 3
- 宋人詞話集 (10) 青山宏 日本大学人文科学研究所研究紀要 55 1998
- 宋人詞話集 (11) 青山宏 日本大学人文科学研究所研究紀要 56 1998
- 宋人詞話集 (12) 青山宏 日本大学人文科学研究所研究紀要 57 1999
- 宋人詞話集 (13) 青山宏 日本大学人文科学研究所研究紀要 58 1999
- 段安節『樂府雜錄』訳注稿 (1) 中純子 中国文化研究 16 1999
- 宋人詞話集 (14) 青山宏 日本大学人文科学研究所研究紀要 59 2000
- 宋人詞話集 (15) 青山宏 中国語中国文化 1 2000
- 段安節『樂府雜錄』訳注稿 (2) 中純子 中国文化研究 17 2000
- 段安節『樂府雜錄』訳注稿 (3) 中純子 中国文化研究 18 2001
- 20 世紀における日本の詞論研究 萩原正樹 言語センター広報 LanguageStudies
9 2001. 3
- 20 世紀日本の詞論研究 萩原正樹 『古代文論研究的回顧と前瞻 復旦大学 2000
年国際学術会議論文集』(復旦大学出版社) 2002. 8
- 王灼『碧鷄漫志』小考 中純子 中国文化研究 19 2002
- 宋代に伝承された唐代音楽—王灼『碧鷄漫志』が語るもの— 中純子 中国文化

研究 20 2003

(詞籍)

- 琴趣外篇に就て 倉石武四郎 支那学 4-1 1926. 8
- 草堂詩余の版本の研究 中田勇次郎 大谷大学研究年報 4 1951. 7 (『読詞叢考』、創文社、1998 に再録)
- 詩余蔵書目録 蒲池欽一 東方文芸 15 1955. 12. 11
- 清初詞選刻板考 中田勇次郎 『神田博士還暦記念書誌学論集』(平凡社) 1957. 11 (『読詞叢考』、創文社、1998 に再録)
- 宋詞(中国文学・思想・語学基本資料解題 8) 中国文化研究会同人 大安 4-12 1958. 12
- 教坊記弁附望江南菩薩蠻小考 村上哲見 中国文学報 10 1959. 4 (『宋詞研究—唐五代北宋篇—』、創文社、1976 に再録)
- 王国維手鈔手校詞曲書二十五種(東洋文庫所蔵の特殊本-3-) 榎一雄 東洋文庫書報 8 1977
- 中国の書目における學術の反映の一例—『四庫全書総目』集部の詞曲類設置について— 村越貴代美 図書館情報大学研究報告 13-1 1994. 6
- 中国名詞選訂補其一 柴田清継 武庫川国文 50 1997
- 中国名詞選訂補其二 柴田清継 武庫川国文 51 1998
- 中国名詞選訂補其三 柴田清継 武庫川国文 52 1998
- 中国名詞選訂補其四 柴田清継 武庫川国文 53 1999
- 中国名詞選訂補其五 柴田清継 武庫川国文 54 1999. 9
- 全金元詞詞牌索引(1) 萩原正樹 小樽商科大学人文研究 98 1999. 8
- 中国名詞選訂補其六 柴田清継 武庫川国文 55 2000. 3
- 全金元詞詞牌索引(2) 萩原正樹 小樽商科大学人文研究 99 2000. 3
- 全金元詞詞牌索引(3) 萩原正樹 小樽商科大学人文研究 100 2000. 9
- 中国名詞選訂補其七 柴田清継 武庫川国文 57 2001. 3
- 中国名詞選訂補其八 柴田清継 武庫川国文 58 2001. 9
- 全金元詞詞牌索引(4) 萩原正樹 小樽商科大学人文研究 101 2001. 3
- 全金元詞詞牌索引(5) 萩原正樹 小樽商科大学人文研究 102 2001. 9
- 中国名詞選訂補其九 柴田清継 武庫川国文 59 2002. 3
- 中国歴代詞(附日本) 訳註所載書索引—唐五代北宋編— 萩原正樹 小樽商科大学人文研究 103 2002. 3
- 唐圭璋氏『全宋詞』編纂の一過程—中田勇次郎先生宛二通の唐氏書函を通して—

附詞学文庫分類目録補遺・正誤表 芳村弘道・萩原正樹 学林 35 2002. 5
 中国歴代詞(附日本) 訳註所載書索引—南宋金元明清近代(附日本) 詞編— 萩原正樹 小樽商科大学人文研究 104 2002. 9
 中国名詞選訂補其十 柴田清継 武庫川国文 60 2002. 11
 中国名詞選訂補其十一 柴田清継 武庫川国文 61 2003. 3
 中国名詞選訂補其十二 柴田清継 武庫川国文 62 2003. 11
 施塾存著『詞学名詞釈義』訳注稿(一) 宋詞研究会編 風絮 1 2005. 3
 龍榆生編選『唐宋名家詞選』訳注稿(一) 宋詞研究会編 風絮 1 2005. 3

(書評)

胡雲翼「宋詞研究」 吉川幸次郎 支那学 4-1 1926. 8
 王国維「人間詞話」 吉川幸次郎 支那学 4-2 1927. 3
 中田勇次郎「宋代の詞」 豊田穰 漢学会雑誌 8-3 1940. 12
 中田勇次郎「詞選」 秋穀 斯文 25-3 1943. 3
 A・ホフマン「李煜の詞」「春花秋月」 村上哲見 中国文学報 2 1955. 4
 夏承燾「唐宋詞人年譜」 清水茂 中国文学報 5 1956. 10
 夏承燾・呉熊和「読詞常識」 小川環樹 中国文学報 19 1963. 10 (『小川環樹著作集』第三巻、筑摩書房、1997 に再録)
 神田邨盒先輩に寄する書—日本填詞史話上の書評に代えて— 吉川幸次郎 文学 1965. 10 (『清虚の事』、朝日新聞社、1967、また全集 17 に再録)
 神田喜一郎著「日本における中国文学 1」 長沢規矩也 国語と国文学 40-7 1965. 7
 神田喜一郎著「日本における中国文学—日本填詞史話上」 水原渭江 比較文学 9 1966. 10
 波多野太郎「宋詞評釈」 太田辰夫 日本読書新聞 1601 1971. 6. 21
 波多野太郎「宋詞評釈」 志村良治 文化 35-3 1972. 2
 馬嶋さんの「中国名詞選」に寄せて 神田喜一郎 新釈漢文大系季報 38 1975. 3
 劉若愚「“詞”の文学的特質」趙葉嘉瑩「吳文英の“詞”—現代的な視点から—」 高橋文治 中国文学報 26 1976. 4
 村上哲見「宋詞研究—唐五代北宋篇」 近藤光男 創文 154 1976. 9
 村上哲見「宋詞研究—唐五代北宋篇」 中原健二 中国文学報 27 1977. 4
 村上哲見「宋詞研究—唐五代北宋篇」 松浦友久 集刊東洋学 37 1977. 9
 唐宋詞に親しむために(唐圭璋主編『唐宋詞鑑賞辞典』江蘇古籍出版社) 阿頼耶順宏 東方 86 1988. 5

- 「詞」の世界の拡大と洗練をたどる－『宋代詩詞』－ 松尾肇子 東方 100
1989. 7
- 柳永の目指したもの－『中国古典詩歌の手法と言語』 水元日子 東方 135
1992. 6
- 『中国古典詩歌の手法と言語』宇野直人 村上哲見 新しい漢文教育 14 1992. 5
- 柳永における「俗」－宇野直人著『中国古典詩歌の手法と言語』－ 松尾肇子 けんぶん (研文出版) 14 1992. 12
- 鄭孟津・吳平山著『詞源解箋』 明木茂夫 中国文学論集 (九州大学) 21 1992. 12
- 「詞」を謎解きする貴重な訳注書「花間詞派選集」 森博行 東方 184 1996. 7
(『詩人と涙－唐宋詩詞論－』、現代図書、2002 に再録)
- 詞学を前進させる貴重詞籍の出版 萩原正樹 東方 256 2002. 6
- 詞源研究会編著「宋代の詞論－張炎『詞源』」 松尾肇子 「中国 21」20 2004

(その他)

- 影の抵抗者 5 詞客 須田禎一
- 両宋詞人姓氏考 中田勇次郎 支那学 8-2 1936. 4 (『読詞叢考』、創文社、1998
に再録)
- 閑情訳詞抄 澤田瑞穂 中国文学月報 51 1939. 6 (『閑花零拾』、研文出版、1986
に再録)
- 宋元時代に於ける絛流の填詞作家 神田喜一郎 仏教史学 2-1 1951. 1
- 漁父詞の作者 幸田露伴 『露伴全集』第 15 卷 (岩波書店) 1952
- 魚山の詩余 中田勇次郎 東方文芸 12 1954. 10 (『読詞叢考』、創文社、1998 に再
録)
- 名月の詞 花崎采琰 東方文芸 12 1954. 10
- 燭背・燈背ということ－読詞瑣記－ 村上哲見 中国文学報 1 1954. 10
- 道蔵に見える詩余 中田勇次郎 東方宗教 4-7 1955. 2 (『読詞叢考』、創文社、
1998 に再録)
- 清代より民国初年の詞界 今関天彭 雅友 24 1955. 9
- 詞との因縁 岡崎俊夫 東方文芸 13 1955. 2 (『天上人間 岡崎俊夫文集』、岡崎俊
夫文集刊行会、1961 に再録)
- 歌者の詞 近藤春男 東方文芸 13 1955. 2
- 詞物語二題 小林健志訳 (詞苑叢談巻 6 及び 12 より) 東方文芸 13 1955. 2
- 詩余漫語 松尾雪梁 東方文芸 13 1955. 2

- 詩人の詞 近藤春男 東方文芸 15 1955. 12
- 唐宋词における夢回の語について－李煜の「喜遷鶯」詞をめぐって－ 青山宏 日本大学松丘高等学校研究紀要 1 1967. 12
- 宋代の詞と演芸 入矢義高 『日本と世界の歴史 9』（学習研究社） 1969. 7
- 読詞雑誌 波多野太郎 『鳥居久靖先生華甲記念論集（中国の言語と文学）』（鳥居久靖教授華甲記念会） 1972. 12 （『中国文学史研究』、桜楓社、1976 に再録）
- 失われた艶詞 田中謙二 新釈漢文大系季報 38 1975. 3
- 中国の詩歌における落花と傷惜春 青山宏 漢学研究 13・14 合併号 1975. 11（『唐宋词研究』、汲古書院、1991 に再録）
- 惜春韻語 澤田瑞穂 中国文学研究（早稲田大学）2 1976. 12 （『閑花零拾』、研文出版、1986 に再録）
- 隋唐の詞と自然 小尾郊一 武庫川国文 14・15 合併号 1979. 3 （『真実と虚構－六朝文学』、汲古書院、1994 に再録）
- 詞曲に表現された女性の美しさ－特に仕女図を媒体として－ 田森襄 『中国文学の女性像』（汲古書院） 1981. 6
- 唐詩における“断腸”－読詞のための覚え書き－ 中原健二 小樽商科大学人文研究 68 1984. 8
- 宋词雅俗言助語辞雑験－宋词文学言語における雅俗について－ 長田夏樹 神戸外大論叢 35-2 1984. 9
- 陶枕詞考（『全宋词』補遺三首） 村上哲見 奈良女子大学文学部研究年報 28 1984. 3
- 三杯兩盞の淡酒の怎で敵せん他の晩来の風の急なるに－宋代歌謡に歌われた酒－ 青山宏 日本大学文理学部学叢 38 1985
- 唐宋田園詩詞札記（上）－菜花・黄花・五辛盤・花信風－ 植木久行 弘前大学人文学部文経論叢 20-3 人文学科編 5 1985. 3
- 対句とくりかえし 清水茂 →（蘇軾）
- 日本国内詞学文献目録初稿 松尾肇子 東方 58 1986. 1
- 唐宋田園詩詞札記（下）－菜花・黄花・五辛盤・花信風－ 植木久行 弘前大学人文学部文経論叢 21-3 人文学科編 6 1986. 3
- 中田勇次郎先生と〈詞〉の世界 近藤光男 『中田勇次郎著作集心花室集』第 10 卷月報 10（二玄社） 1987. 2
- 宋代「寒食・清明」詞と風土 青山宏 日本大学人文科学研究所紀要 33（共同研究－風土Ⅱ） 1987. 3 （『唐宋词研究』、汲古書院、1991 に再録）
- 詩語「春帰」考 中原健二 東方学 75 1988. 1
- 宋代自寿詞について 青山宏 『沼尻博士退休記念中国学論集』（汲古書院）

1990. 11

天上人間—詞の時空表現— 戸倉英美 人文学報（東京都立大学人文学部）213

1990. 3

閨房のなかの山水、あるいは瀟湘について—晩唐五代詞における風景と絵画—

浅見洋二 集刊東洋学 67 1992. 5

日本における詞の研究の現状と課題 松尾肇子 未名 11 1993. 3

敬挽老師唐圭璋教授—中国韻文学会会長中華詩詞学会名誉会長唐圭璋教授と詞学

研究— 水原渭江 大谷女子大学紀要 28-1 1993. 10

元代における詞の歌唱について 萩原正樹 学林 20 1994. 2

第一屆詞学国際研討会（台北）参加報告 村上哲見 東方学 87 1994. 1

宋代詩詞民俗事象釈義—節日民俗部分 羅時進 花園大学文学部研究紀要 32

2000

「銷魂（消魂）」考 濱岡久美子 風絮 1 2005. 3

日本国内詞学文献目録 松尾肇子編・宋詞研究会補編 風絮 1 2005. 3

2. 各論

（1）唐五代

（白居易）

白樂天の文殊讃 中田勇次郎 東光 8 1949. 3 （『読詞叢考』、創文社、1998 に再録）

詩人と詞—白居易と陸游の場合— 田森襄 埼玉大学紀要（教養学部）1 1966. 3

填詞への目覚め—白居易杭州滞在期の文学的意味— 中純子 中国文学報 45

1992. 10

白居易と詞 中純子 『白居易研究講座』第一巻（勉誠社） 1993

劉白「浪淘沙詞」考 柴格朗 ことばのアスペクト（京都産業大学）8 1995

（温庭筠）

温庭筠の金荃詞—唐宋词選其一一 中田勇次郎 世代 1-1 1946. 7 （『読詞叢考』、

創文社、1998 に再録）

温飛卿の文学 村上哲見 中国文学報 5 1956. 10 （『宋词研究—唐五代北宋篇—』、

創文社、1976 に再録）

温庭筠の「菩薩蠻」 小野忍 『中国詩人選集』第2巻付録（岩波書店） 1958. 1

温飛卿詞についての一分析 柚木利博 漢文学会会報 26 1967. 7

花間集の詞—その 1— —温庭筠の詞— 青山宏 日本大学人文科学研究所紀要

12 1970.12 (『唐宋詞研究』、汲古書院、1991に再録)

温庭筠詞の修辭－提喻を中心として－ 中原健二 東方学 65 1983.1

温庭筠詞研究ノート「双双金鸂鶒」について 杉本繁昭 中国詩文論叢 3 1984.6

花間集と温庭筠 雫石鉦吉 関西外国語大学研究論集 40 1984.5

温庭筠の文学の一側面－時間の流れの中の不安定な存在－ 山本敏雄 東方学 71 1986.1

温庭筠の樂府歌行－形式的側面について－ 山本敏雄 愛知教育大学研究報告 (人文科学編) 36 1987.2

温庭筠歌詞について 芦立一郎 山形大学紀要 (人文科学) 12-1 1990.1

(韋莊)

洛陽才子他鄉老－詞人韋莊のことども－ 岡崎俊夫 中国文学月報 49 1939.4
(『天上人間 岡崎俊夫文集』、岡崎俊夫文集刊行会、1961に再録)

韋莊の浣花詞－唐宋詞選その二－ 中田勇次郎 世代 1-2 1946.8 (『読詞叢考』、創文社、1998に再録)

花間集の詞－その2－ ー韋莊の詞－ 青山宏 漢学研究 9 1972.3 (『唐宋詞研究』、汲古書院、1991に再録)

花間集と韋莊 中田喜勝 長崎大学教養部紀要 (人文科学篇) 20-2 1980.1

韋莊詞小考 山本敏雄 愛知教育大学研究紀要 (人文科学) 33 1984.1

詞における構成－韋莊「謁金門」詞試釈－ 森博行 大谷女子大國文 27 1997
(『詩人と涙－唐宋詩詞論－』、現代図書、2002に再録)

韋莊「清平樂」詞について 森博行 大谷女子大國文 28 1998 (『詩人と涙－唐宋詩詞論－』、現代図書、2002に再録)

(李珣)

蜀の詞人李珣の瓊瑤集より 中田勇次郎 学海 (秋田屋) 3-3 1946.4 (『読詞叢考』、創文社、1998に再録)

花間集の詞－5－ ー李珣の詞について－ 青山宏 日本大学人文科学研究紀要 19 1977.3 (『唐宋詞研究』、汲古書院、1991に再録)

(李璟)

南唐中主「浣溪沙」第二首の「細雨夢回鷓鴣塞遠」の句意について 竹内照夫 関西大学中国文学会紀要 3 1970.3 (論「細雨夢回鷓鴣塞遠」之句意、張良沢訳、大陸雜誌 4-5、1970.3)

鶏塞遠の句意について－竹内説への疑問－ 福本雅一 帝塚山学院短期大学研究
年報 18 1970. 12

南唐中主の詞句について（再説） 竹内照夫 東京支那学報 16 1971. 6

（李煜）

天上人間－帝王詞家李重光のこと－ 岡崎俊夫 中国文学 103 1948. 2

南唐李後主の詞 加藤大三 東海（東海高校文芸部）7 1956

《紹介》李後主の詞に関する討論 村上哲見 中国文学報 7 1957. 10

李煜の詞におもうこと 村上哲見 『中国詩人選集』第 16 巻付録（岩波書店）
1959. 1

人民と詞－李煜をめぐって－ 吉川幸次郎 新潮 1959. 4 （『閑情の賦』、筑摩書
房、1959、また全集 11 に再録）

李煜の生涯とその文学 国枝稔 岐阜大学研究報告人文科学（学芸学部）8-2
1959. 12

李煜の初期の詞三首 青山宏 漢学研究 2 1964. 3

李煜の詞－その一側面－ 竹内良雄 犀の会 1 1967. 5

李煜と春江 神谷いを子 中国の文化と社会 11 1968

南唐李後主詞研究（1） 水原渭江 馮平山図書館 1976

南唐後主詞の研究（1） 水原渭江 大谷女子大学紀要 12-1 1977. 9

李煜の詞 黎波 中国語 215 1977. 12 （『中国文学館』、大修館書店、1984 に再録）

南唐後主詞の研究（2） 水原渭江 大谷女子大学紀要 12-2 1978. 3

李後主における詞境 宇野直人 中国詩文論叢 4 1985. 6 （『中国古典詩歌の手法
と言語』、研文出版、1991 に再録）

本邦禅林の「韓王堂雪」詩における李煜詞の受容をめぐって－「五山文学と填詞」
続貂－ 中本大 →（日本人）

（花間集）

顧夔の詞－唐宋詞選その三－ 中田勇次郎 世代 1-4 1946. 10 （『読詞叢考』、
創文社、1998 に再録）

花間集より－唐宋詞選その四－ 中田勇次郎 世代 6 1946. 12 （『読詞叢考』、
創文社、1998 に再録）

毛熙震の詞より 中田勇次郎 知慧（秋田屋）2-6 1947. 12 （『読詞叢考』、創文社、
1998 に再録）

- 牛嶠の詞より 中田勇次郎 知慧(秋田屋) 3-6 1948. 11 (『読詞叢考』、創文社、1998に再録)
- 花間集抄 加藤大三 東海(東海高校文芸部) 4 1953. 12
- 花間集の提要をめぐって 近藤光男 東京支那学報 5 1959. 6 (『清朝考証学の研究』、研文出版、1987に再録)
- 花間集 中田勇次郎 『倉石博士還暦記念中国の名著』(勁草書房) 1961. 10 (『読詞叢考』、創文社、1998に再録)
- 花間集(解題並訳) 加藤大三 東洋文化(東洋文化振興会) 12 1965. 10
- 花間集の詞-1- -温庭筠の詞- 青山宏 →(温庭筠)
- 花間集の詞-2- -韋莊の詞- 青山宏 →(韋莊)
- 花間集の詞-3- -孫光憲の詞- 青山宏 漢学研究 10 1973. 3 (『唐宋詞研究』、汲古書院、1991に再録)
- 花間集の詞-4- -花間集詞の形式について- 青山宏 日本大学人文科学研究所紀要 16 1974. 3 (『唐宋詞研究』、汲古書院、1991に再録)
- 花間集の詞-5- -李珣の詞について- 青山宏 →(李珣)
- 花間集と韋莊 中田喜勝 →(韋莊)
- 花間集と温庭筠 雫石鉦吉 →(温庭筠)
- 「花間集」における「昏・魂・痕」等について 沢崎久和 高知大国文 15 1984. 12
- 「花間集」における「沿襲」 沢崎久和 高知大学学術研究報告(人文科学) 34 1985 (1985. 4~1986. 3 合冊) (「《花間集》的沿襲」馬歌東訳『詞学』9 華東師範大学 1992. 7)
- 晏幾道と『花間集』 萩原正樹 →(晏幾道)

(尊前集)

- 尊前集雑考 雫石鉦一 漢学会雑誌 9-1 1941

(敦煌詞)

- 法京所蔵の敦煌発見の舞譜〈遐方遠〉解読の問題 水原渭江 『中国哲学史の展望と模索』(創文社) 1976. 11
- 敦煌歌詞を廻る任饒両大家の論争 波多野太郎 東方宗教 53 1979. 5
- 任半塘教授の「敦煌曲」批判 波多野太郎 東方宗教 54 1979. 11
- 敦煌曲子詞孟姜女に対する潘重規教授の見解-任、潘、饒三教授の論争- 波多野太郎 東方宗教 55 1980. 7
- 敦煌本定格聯章について 川崎ミチコ 東洋大学大学院紀要 18 1981

(2) 北宋

(丁謂)

丁謂の詞二首 池沢滋子 中央大学論集 21 2000

(柳永)

柳耆卿詞二関 榎並章 東方文芸 15 1955.12

詩詞曲の接点「楽章集」－宋詞覚え書き・その1－ 長田夏樹 神戸外大論叢 9-3
1968.8

今宵酒醒何處 楊柳岸曉風殘月－雨霖鈴に歌われた別離の情－ 横山真佐子
『中国古典詩叢考』（勁草書房） 1969.7

柳耆卿家世閥歴考 村上哲見 集刊東洋学 25 1971.5 （『宋詞研究－唐五代北宋篇－』、創文社、1976に再録）

柳耆卿詞の形態上の特色について 村上哲見 東方学 43 1972.2 （『宋詞研究－唐五代北宋篇－』、創文社、1976に再録）

柳耆卿詞綜論 村上哲見 東北大学教養部紀要 17 1973.2 （『宋詞研究－唐五代北宋篇－』、創文社、1976に再録）

柳永詞について－その艶詞に関する一考察－ 中原健二 中国文学報 25
1975.4

柳永の詞－柳永研究2－ 野口一雄 問題と研究 12 1976

『楽章集源流攷』 野口一雄 東方学 53 1977.1

柳永における羈旅の詞－頻用語を通しての一考察－ 野口一雄 日本中国学会報
29 1977.10

柳耆卿の詞作の基本姿勢について 宇野直人 中国文学研究 8 1982.12 （『中国古典詩歌の手法と言語』、研文出版、1991に再録）

柳耆卿詞論序説 宇野直人 早稲田大学文学研究科紀要別冊 9 1983.3 （『中国古典詩歌の手法と言語』、研文出版、1991に再録）

鶯の心情 宇野直人 節令 3 1983.3

詩語としての「狂」と柳耆卿の詞 宇野直人 中国文学研究 9 1983.12 （『中国古典詩歌の手法と言語』、研文出版、1991に再録）

柳永における宋玉の意味 宇野直人 中国詩文論叢 3 1984.6 （『中国古典詩歌の手法と言語』、研文出版、1991に再録）

柳永の対句法について 宇野直人 中国文学研究 10 1984.12 （『中国古典詩歌の手法と言語』、研文出版、1991に再録）

- 柳永と太晟府 萩原正樹 学林 7 1986. 1
- 詞牌からみた柳永と周邦彦 萩原正樹 学林 8 1986. 7
- 柳永における科挙 萩原正樹 学林 9 1986. 1
- 柳永の後半生とその詞 萩原正樹 学林 12 1989. 3
- 柳永所用詞牌一覧表 宇野直人 中国詩文論叢 8 1989. 10 (『中国古典詩歌の手法と言語』、研文出版、1991 に再録)
- 柳永の詞における詞牌と題材 宇野直人 中国文学研究 15 1989. 12 (『中国古典詩歌の手法と言語』、研文出版、1991 に再録)
- 柳永の詞風と北宋都市生活 宇野直人 日本中国学会報 42 1990. 10 (『中国古典詩歌の手法と言語』、研文出版、1991 に再録)
- 柳永の羈旅の詞における創作の姿勢について 宇野直人 中国文学研究 16 1990. 12 (『中国古典詩歌の手法と言語』、研文出版、1991 に再録)
- 柳永における仮説の手法について—「長相思」詞、ならびに離別の詞を手がかりに— 宇野直人 『竹田晃先生退官記念東アジア文化論叢』(汲古書院) 1991. 6 (『中国古典詩歌の手法と言語』、研文出版、1991 に再録)
- 柳永『樂章集』諸本の流伝—野口一雄「樂章集源流攷」補正 村越貴代美 図書館情報大学研究報告 13-2 1994. 12
- 柳永の懷古詞に見える構成意識について 宇野直人 中国文学研究 20 1994. 12
- 歴代七夕詩の変容と柳永の「二郎神」詞 宇野直人 『宋代の規範と習俗(宋代史研究会研究報告 5)』(汲古書院) 1995. 10
- 柳永の詠物詞に見える創作姿勢について 宇野直人 『中村璋八博士古稀記念東洋学論集』(汲古書院) 1996. 1
- 蘇軾と柳永の詞について—特に雨上がりの風景描写と蘇軾の詞の小序をめぐって— 保苺佳昭 →(蘇軾)
- 小説戯曲における柳永の人物像 柴田清継 武庫川女子大学紀要人文社会科学編 49 2001
- 柳永詞論—その物語性と表現 藤原祐子 中国研究集刊 34 2003. 12

(張先)

- 張子野の詞について 村上哲見 『吉川博士退休記念中国文学論集』(筑摩書房) 1968. 3 (『宋詞研究—唐五代北宋篇—』、創文社、1976 に再録)
- 張先和韻詞二首繁年稿—夏承燾「張子野年譜」補正— 内山精也 中国詩文論叢 10 1991. 10

(欧陽修)

欧陽修の詞について 田中謙二 東方学 7 1953. 10

(王安石)

王安石的詞について 保荊佳昭 橄欖 5 1993. 3

(晏幾道)

晏幾道と『花間集』 萩原正樹 学林 14・15 合併号 1990. 7

(蘇軾)

蘇東坡念奴嬌(赤壁懷古) 小川環樹 『中国の名著』(勁草書房) 1961. 10 (『風と雲』、朝日新聞社、1972、また『小川環樹著作集』第三卷、筑摩書房、1997に再録)

詩と詞とのあいだー蘇東坡の場合ー 村上哲見 東方学 35 1968. 1

東坡の初期の送別詞 西紀昭 中国中世文学研究 7 1968. 8

東坡詞論考ー作詞の場と作品の分析ー 横山伊勢雄 国文学漢文学論叢 18 (東京教育大学文学部紀要 92) 1973. 3

東坡詞札記二則 村上哲見 集刊東洋学 29 1973. 6 (『宋詞研究ー唐五代北宋篇ー』、創文社、1976に再録)

蘇東坡の詞について 村上哲見 『入矢教授・小川教授退休記念中国文学語学論集』(筑摩書房) 1974. 10 (『宋詞研究ー唐五代北宋篇ー』、創文社、1976に再録)

東坡詞題注小考 野口一雄 中哲文学会報 3 1978. 6

対句とくりかえしー蘇軾「水調歌頭」「人有悲歡離合、月有陰晴円缺」の手法ー 清水茂 『古田教授退官記念中国文学語学論集』(東方書店) 1985. 7 (『語りの文学』、筑摩書房、1988に再録)

蘇軾詞を論ず 葉嘉瑩(東英壽訳) 『岡村繁教授退官記念論集(中国詩人論)』(汲古書院) 1986. 10

東坡にとっての詞の意味ー特に詩と比較してー 保荊佳昭 漢学研究 25 1987. 3

蘇東坡の詞に見られる「狂」について 保荊佳昭 漢学研究 27 1989. 3

蘇東坡の詞に見られる「雨」についてー特に雨上がりの風景描写を中心にしてー 保荊佳昭 漢学研究 28 1990. 3

蘇東坡の詞に見られる「夢」の語についてー特に彼のこの世に対する認識を中心としてー 保荊佳昭 漢学研究 29 1991. 3

蘇軾次韻詞考—詩詞間に見られる次韻の異同を中心として— 内山精也 日本中国学会報 44 1992. 10

浅談蘇軾詞的題序 肖波 筑波中国文化論叢 12 1992

蘇東坡と「詞」 中原健二 しにか (大修館書店) 98 年 11 月号 1998

評語「豪放」の発生について—蘇軾詞への評価を中心として— 日野俊彦 新しい漢字漢文教育 27 1998

蘇軾と柳永の詞について—特に雨上がりの風景描写と蘇軾の詞の小序をめぐって— 保苺佳昭 橄欖 7 1998

蘇軾の超然台の詩詞—熙寧九年に起こった詩禍事件— 保苺佳昭 日本中国学会報 51 1999

蘇詞編年三則 保苺佳昭 宋代文化研究 11 2002

(秦觀)

秦少游詞論稿 (1) 青山宏 漢学研究 16・17 合併号 1978. 9 (『唐宋詞研究』、汲古書院、1991 に再録)

秦少游詞論稿 (2) 青山宏 日本大学人文科学研究所紀要 23 1980. 3 (『唐宋詞研究』、汲古書院、1991 に再録)

秦少游詞論稿 (3) 青山宏 日本大学人文科学研究所紀要 29 1984. 3 (『唐宋詞研究』、汲古書院、1991 に再録)

宋代詞人、秦觀とその「調笑令」 後藤淳一 文学研究科紀要別冊 (早稲田大学) 18 文学・芸術編 1991

(賀鑄)

賀鑄「鑾括」詞に関する一考察 池田智幸 立命館文学 570 2001

賀鑄詞における楽府文学の影響—「寓声詞牌」小考— 池田智幸 学林 36・37 2003

(晁端礼)

晁端礼と蘇門と琴趣外篇の詞人達—宋词覚え書き・その 2— 長田夏樹 神戸外大論叢 21-3 1970. 8

(周邦彦)

周美成の詞について 村上哲見 東北大学教養部紀要 19 1974. 3 (『宋词研究—唐五代北宋篇—』、創文社、1976 に再録)

周邦彦「六醜」詞—詩余の達成しえたもの— 野口一雄 『中国の古典文学』（東京大学出版会） 1981. 4

詞牌からみた柳永と周邦彦 萩原正樹 →（柳永）

南宋における周邦彦の作品の編纂 村越貴代美 図書館情報大学研究報告 14-2 1995

身は秋後の蠅の如し—周邦彦の詞の一面— 森博行 季刊中国 43 1995. 12
（『詩人と涙—唐宋詩詞論—』、現代図書、2002 に再録）

周邦彦和大晟府 村越貴代美 『首届宋代国際研討会論文集』（復旦大学出版社） 2001

（李清照）

女詞人李易安 鈴木虎雄 芸文 13-8 1922 （『支那文学研究』、弘文堂、1925 に再録）

李易安 花崎采琰 桃源 2-10 1948. 10

宋代の女詞人（5） 花崎采琰 東方文芸 8 1953. 7

わが庭こそわびしけれ（壺中天慢の詠詞） 日夏耿之介 東方文芸 13 1955. 2

過雁 原田憲雄 大乘 9-11 1958. 11

李清照の詞の特色 青山宏 漢学研究 7 1970. 3

李清照の創作について 垂永英彦 中国文学論集（九州大学） 1 1970. 5

中国第一の女詞人李清照—波乱の後半世と「愁」字点出の名作— 増田清秀 国語と教育（大阪教育大学） 9 1980. 3

李清照の伝記と詞 山田勝久 『中国文学の世界第5集』（笠間書院） 1981. 5 （『唐詩の光彩』、笠間書院、1984 初版・1996 新装版に再録）

女流詩人・李清照 黎波 中国語 216 1978. 1 （『中国文学館』、大修館書店、1984 に再録）

李清照（1）～（48） 原田憲雄 方向 19～ 1982. 8～1988

漱玉詞の輯本系譜と作品弁別 小林徹行 汲古 19 1991. 6

李清照の詞における愛国思想 許旭蓮 漢学研究 30 1992

家庭の情景—李清照「金石録後序」をめぐって— 西上勝 山形大学紀要人文科学 15-2 2003. 2

李清照像の変遷—二度の結婚をめぐって— 松尾肇子 女性史学 13 2003. 7

（3）南宋

（李弥遜）

李弥遜の詞について 青山宏 『栗原圭介博士頌寿記念東洋学論集』（汲古書院）
1995

（陸游）

詩人と詞－白居易と陸游の場合－ 田森襄 →（白居易）
陸游「釵頭鳳」詞をめぐって 森博行 大谷女子大学紀要 31-2 1997 （『詩人と涙－唐宋詩詞論－』、現代図書、2002 に再録）
陸游「清商怨」詞について 森博行 『興膳教授退官記念中国文学論集』（汲古書院） 2000 （『詩人と涙－唐宋詩詞論－』、現代図書、2002 に再録）

（姜夔）

姜白石の梅の詞について 中田勇次郎 東光 3 1948. 1
姜夔 中田勇次郎 『青木正児博士還暦記念中華六十名家言行録』（麗澤叢書、弘文堂） 1948. 2
南宋の文人たち－姜白石をめぐって－ 村上哲見 『中国書論大系』月報 5（二玄社） 1979. 6
『白石道人歌曲』の旋律と詞牌 明木茂夫 中国文学論集（九州大学）17 1988. 12
白石道人歌曲に於ける双調形式－歌曲集としての白石詞－ 明木茂夫 九州中国学会報 29 1991. 4
姜白石詞序説 村上哲見 日本中国学会報 43 1991. 10
姜夔「徵招」「角招」詞考 村越貴代美 東方学 90 1995. 7
姜夔の「淒涼犯」に見る犯調について 村越貴代美 お茶の水女子大学中国文学会報 20 2001

（辛棄疾）

詞の解釈の一例－辛棄疾「菩薩蠻（鬱孤台下）」補考－ 小川環樹 中国文学報 14 1961. 4 （『風と雲』、朝日新聞社、1972、また『小川環樹著作集』第三巻、筑摩書房、1997 に再録）
辛棄疾詞二関 北村信男 漢文教室 90 1969. 3
辛棄疾 中田勇次郎 『ブリタニカ国際大百科事典』第 10 巻（TBS ブリタニカ）1973. 11 （『読詞叢考』、創文社、1998 に再録）
思惟の人と行動の人－朱子と辛稼軒の交遊－ 村上哲見 『人類の知的遺産』月報 17（講談社） 1979. 6
守られた英雄－辛棄疾 村越貴代美 『ああ哀しいかな－死と向き合う中国文学』

(汲古書院) 2002

記念講演 稼軒詞試論 村上哲見 風絮 1 2005. 3

(朱熹)

思惟の人と行動の人—朱子と辛稼軒の交遊— 村上哲見 → (辛棄疾)

(朱淑真)

朱淑真断腸詞 花崎采琰 東方文芸 14 1955. 6

朱淑真「断腸詞」及び「断腸詩集」 水元日子 大東文化大学中国学論集 5 1983

朱淑真集の二種の版本のついて—冀勤女士の紹介— 村越貴代美 汲古 14
1988. 12

才女の嘆き—朱淑真の「愁い」のモチーフ— 村越貴代美 学芸国語国文学 (東京学芸大学) 27 1995. 3

(呉文英)

呉文英 (夢窓) とその詞 村上哲見 『岡村繁教授退官記念論集 (中国詩人論)』 (汲古書院) 1986. 10 (「呉文英及其詞」陳雪軍訳『詞学』9 華東師範大学 1992. 07)

(周密)

周草窓詞序説 村上哲見 『東方学会創立五十周年記念東方学論集』 (東方学会) 1997. 5

(張炎)

玉田詞論稿 青山宏 東洋文化 (東京大学) 58 1978. 3 (『唐宋詞研究』、汲古書院、1991に再録)

『詞源』と『樂府指迷』 松尾肇子 日本中国学会報 37 1985. 10

『詞源』犯調考—その「犯」の意味するもの— 明木茂夫 文学研究 (九州大学) 90 1993. 3

『詞源』宮調俗名考—その命名法に見る「読み替えの構造」— 明木茂夫 中国文学論集 24 1995. 12

明清における『詞源』の受容 松尾肇子 汲古 33 1998. 6

宋末元初の詠物詩—『詞源』を中心に— 松尾肇子 岐阜経済大学論集 32-1 1998. 6

『詞源』の景情交鍊説をめぐって 松尾肇子 未名 18 2000

張炎『詞源』の清空説について 松尾肇子 『中国文人の思考と表現』（汲古書院）
2000

（王沂孫）

王沂孫の詠物詞について 萩原正樹 学林 4 1984. 7

（4）元明

（文徵明）

文徵明の横顔 田森襄 『古田紹欽博士古稀記念論集（仏教の歴史的展開に見る諸形態）』（創文社） 1981. 6

（5）清

（陳維崧）

陳維崧の詞 清水茂 『中田勇次郎先生頌寿記念論集（東洋芸林論叢）』（平凡社）
1985

（朱彝尊）

述曝書亭詞 吉川幸次郎 支那学 4-2 1927. 3 （全集 16 に再録）

（蒲松齡）

蒲松齡の詞 戸倉英美 『伊藤漱平教授退官記念中国学論集』（汲古書院） 1986

（万樹）

「詞律」の著者万樹について 村上哲見 創文 151 1976. 6

研究ノート『詞律』の四声説について 萩原正樹 →（詞体・詞譜）

文人之最一万紅友事略一 村上哲見 『中国文人の思考と表現』（汲古書院） 2000

（納蘭性徳）

納蘭性徳の詞一紅樓夢の悲歌一 桑山龍平 中国語雑誌 5-1 1950. 1

清朝の閃めく星 花崎采琰 東方文芸 13 1955. 2

飲水詞を読み 中田勇次郎 東方文芸 15 1955. 12

納蘭の辺塞詞 小林健志 東方文芸 15 1955. 12

納蘭詞二題 蒲池歆一 東方文芸 15 1955. 12

飲水詞の性格 花崎采琰 東方文芸 15 1955. 12

詞人納蘭性徳について 中田勇次郎 『矢野禾積博士還暦記念論文集（近代文藝の研究）』（北星堂書店） 1956. 3 （『読詞叢考』、創文社、1998 に再録）

（馮雲鵬）

二十四女品花（馮雲鵬） 日夏耿之介 中央公論 800 1955. 5

（張惠言）

「雅俗」の理念を中心としてみた張惠言の詞論について－詞選の位置－ 伊藤虎丸 『内野博士還暦記念東洋学論集』（漢魏文化研究会） 1964. 12

（戈載）

戈載『詞林正韻』の成立をめぐって 村越貴代美 お茶の水女子大学中国文学会報 7 1988. 4

（王国維）

『人間詞話』など 小川環樹 中国文学月報 26 1937. 5 （『小川環樹著作集』第四卷、筑摩書房、1997 に再録）

「詞」の境界について 近藤光男 北海道大学外国語・外国文学研究 7 1959. 12
人間詞話－とくにその「人間」と「境界」について－ 近藤光男 『中国の名著』（勁草書房） 1961. 10

王国維の詞論－その境界説について－ 金丸邦三 一橋論叢 56-4 1966. 10

王国維の詞について－「人間」の語の意味するもの－ 竹村則行 文学研究 76 1979. 3

王国維の《人間詞》について 宮内保 『加賀博士退官記念中国文史哲学論集』（講談社） 1979. 3

王国維の境界説と田岡嶺雲の境界説 竹村則行 中国文学論集（九州大学） 15 1986. 12

王国維と田岡嶺雲－「人間詞話」をめぐって 岸洋子 『近代日本と中国』（汲古書院） 1989

（6）近人

（吳梅、金陵詞壇）

談詞漫語 坂田新 中国文学研究 8 1982. 12

談詞続語 (1) 坂田新 愛知県立大学文学部論集 (国文学科編) 33 1983. 12

談詞続語 (2) 坂田新 説林 (愛知県立大学文学部国文学会) 32 1984. 2

談詞続語 (3) 坂田新 愛知県立大学文学部論集 (国文学科編) 34 1984. 2

(毛沢東)

毛沢東と詞 岡崎俊夫 東京支那学報 4 1958. 6 (『天上人間 岡崎俊夫文集』、岡崎俊夫文集刊行会、1961 に再録)

毛沢東詞「雪」におもうーその歴史的背景についてー 小池洋一 大安 7-8 1961. 8

毛沢東主席の詞 村上哲見 世界文学大系月報 65 1963. 1

《資料》毛沢東の詞「雪」の解釈をめぐる (1) ～ (9) 中国の文化と社会 (東京大学) 2-9、3-1～4、7、8、11、12 1969. 9～1971. 5

1976 年元旦に発表された毛主席の” 詞 (ci) 2 首” に関して 原田稔 追手門学院大学創立 10 周年記念論集 (文学部篇) 1976. 10

(7) 日本人

本邦填詞史話 (1) ～ (11) 神田喜一郎 台大文学 5-2、3、5、6-1、3、5、7-2、3、5、6、8-3 1940. 5～1943. 11 (高野竹隱与森槐南之詞学、李圭海訳、同声月刊 3-1、1943. 3、また日本填詞史話 (9)、李圭海訳、同声月刊 3-8、1943. 10)

五山文学と填詞 神田喜一郎 東光 3 1948. 1

忘れられたる填詞作家の野村篁園についてー日本填詞史話の一節ー 神田喜一郎 人文研究 (大阪市立大学) 1-2 1949. 12

閨秀詞人菊舎尼 神田喜一郎 東方文芸 6 1953. 2

詩人追憶 森川竹礪氏 今関天彭 雅友 14 1953

わが国にて歌はれた詩余 中田勇次郎 東方文芸 13 1955. 2 (『読詞叢考』、創文社、1998 に再録)

伊勢の詞壇と矢土錦山翁 近藤克堂 雅友 25 1955. 10

演盆栽 水田紀久 東方文芸 15 1955. 11

日本填詞史の一節ー加藤明友と林家一門ー 神田喜一郎 『石浜先生古稀記念東洋学論叢』 (石濱先生古稀記念会) 1958. 11

経国集論考ー詩を中心としてー 松浦友久 中国古典研究 12 1964. 12 (『日本上代漢詩文論考 松浦友久著作選Ⅲ』、研文出版、2004 に再録)

越調詩に関する二三の問題ー唐代新声の残したものー 松浦友久 国文学研究

- 32 1965. 10 (『日本上代漢詩文論考 松浦友久著作選Ⅲ』、研文出版、2004 に再録)
 上代漢詩文における理念と様式—詩文実作の意味するもの— 松浦友久 文学
 (岩波書店) 34-3 1966. 3 (『日本上代漢詩文論考 松浦友久著作選Ⅲ』、研文出版、
 2004 に再録)
- 填詞專家 森川竹磎先生の思い出 水原琴窓 『聴秋仙館詩稿』 (森川竹磎遺稿刊
 行会) 1967. 3
- 水原琴窓先生遺稿『菩薩蛮一百首』の続編について (三) 水原渭江 琴窓詞館
 秋報 1985. 10
- 湘煙女史の漢詩—湘煙と易安— 波多野太郎 本郷だより (不二出版) 11 1985. 10
- 堀辰雄と李清照 岡本文子 和洋国文研究 23 1988. 3
- 森川竹磎詞曲集 夢余稿 (上) 水原渭江編 大谷女子大学教育学会誌 13 1988
 日本における詞の系譜—勅撰三詩集の時代— 宇野直人 新しい漢文教育 7
 1988. 9. 30 (『中国古典詩歌の手法と言語』、研文出版、1991 に再録)
- 森川竹磎詞曲集 夢余稿 (中) 水原渭江編 大谷女子大学教育学会誌 14 1988
 日本における詞の系譜—「漁歌」製作の背景— 宇野直人 新しい漢文教育 8
 1989. 4. 30 (『中国古典詩歌の手法と言語』、研文出版、1991 に再録)
- 日本における詞の系譜③—融合教材としての二つの可能性 宇野直人 新しい漢
 文教育 9 1989. 11 (『中国古典詩歌の手法と言語』、研文出版、1991 に再録)
- 森川竹磎詞曲集 夢余稿 (下) 水原渭江編 大谷女子大学教育学会誌 15 1989
- 森川竹磎『詞律大成』詞牌索引 萩原正樹 言語センター広報 Language Studies
 第 2 号 1994. 3
- 森川竹磎の『欽定詞譜』批判 (上) 萩原正樹 小樽商科大学人文研究 87 1994. 3
- 森川竹磎の『詞律大成』について 萩原正樹 学林 21 1994. 7
- 森川竹磎の『欽定詞譜』批判 (中) 萩原正樹 小樽商科大学人文研究 88 1994. 8
- 本邦禅林の「韓王堂雪」詩における李煜詞の受容をめぐって—「五山文学と填詞」
 続貂— 中本大 国語国文 (京都大学文学部国文学会) 63-10 1994
- 森川竹磎の『欽定詞譜』批判 (下) 萩原正樹 小樽商科大学人文研究 89 1995. 3
- 五山二留学僧の填詞製作—竜山・中巖の木蘭花— 野川博之 中国文学研究 25
 1999
- 中巖円月の宋词紹介 野川博之 中国文学研究 26 2000
- 森川竹磎の詞牌研究 萩原正樹 新宋学 (上海辞書出版社) 1 2001. 10
- 森川竹磎の詞論研究について 萩原正樹 学林 39 2004. 3